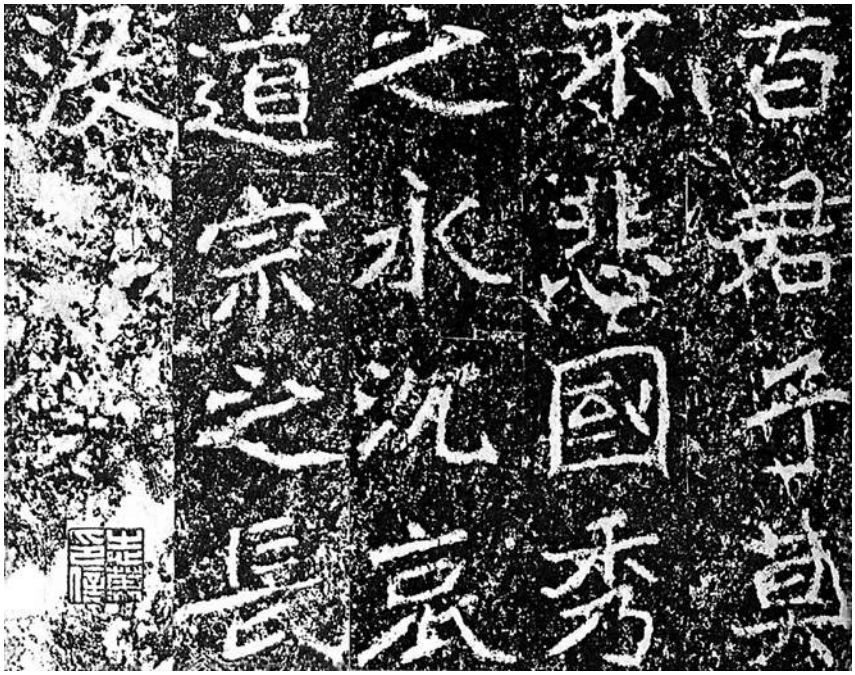
名蹟紹介



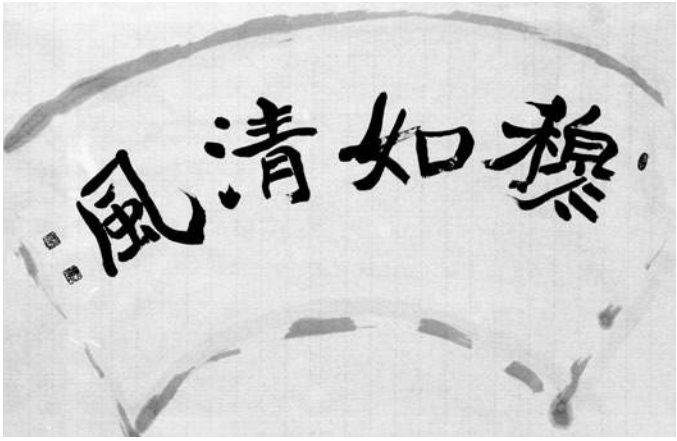
◆鄭羲下碑

鄭道昭（？～516）

北魏時代の摩崖碑。鄭道昭が父・鄭羲のために書いたもので山東省掖県の寒同山にある。同じ山東省平度県の天柱山にほぼ同文の「鄭羲上碑」があるのに対して下碑と呼ぶ。

鄭道昭は光州刺史在任中、管内の山々に多くの摩崖の碑および題刻を書き遺したが、中でもこの下碑は、文・書ともに最も充実した力作である。自然の岩壁に刻まれた、いわゆる摩崖としての自由さと、自ら額に碑と題するような適度の緊張感とが融け合った傑作といえる。

風清如穆



(35×54㎝)

百君子莫　不悲国秀　之永沈哀　道宗之長

(136×35㎝)

鄭羲下碑はどなたがみても力強い線で、一点一画に気を配りながら書かれていると観察されていると思うが、実際に臨書してみて感じられるのはゆったりとした趣きと温和な表情をみせてくれることに気づかされる。字形は偏平で胴が張り、下部を広くして安定させた形態をとり、しかも角ばらないでバランスをとっているところは見事である。

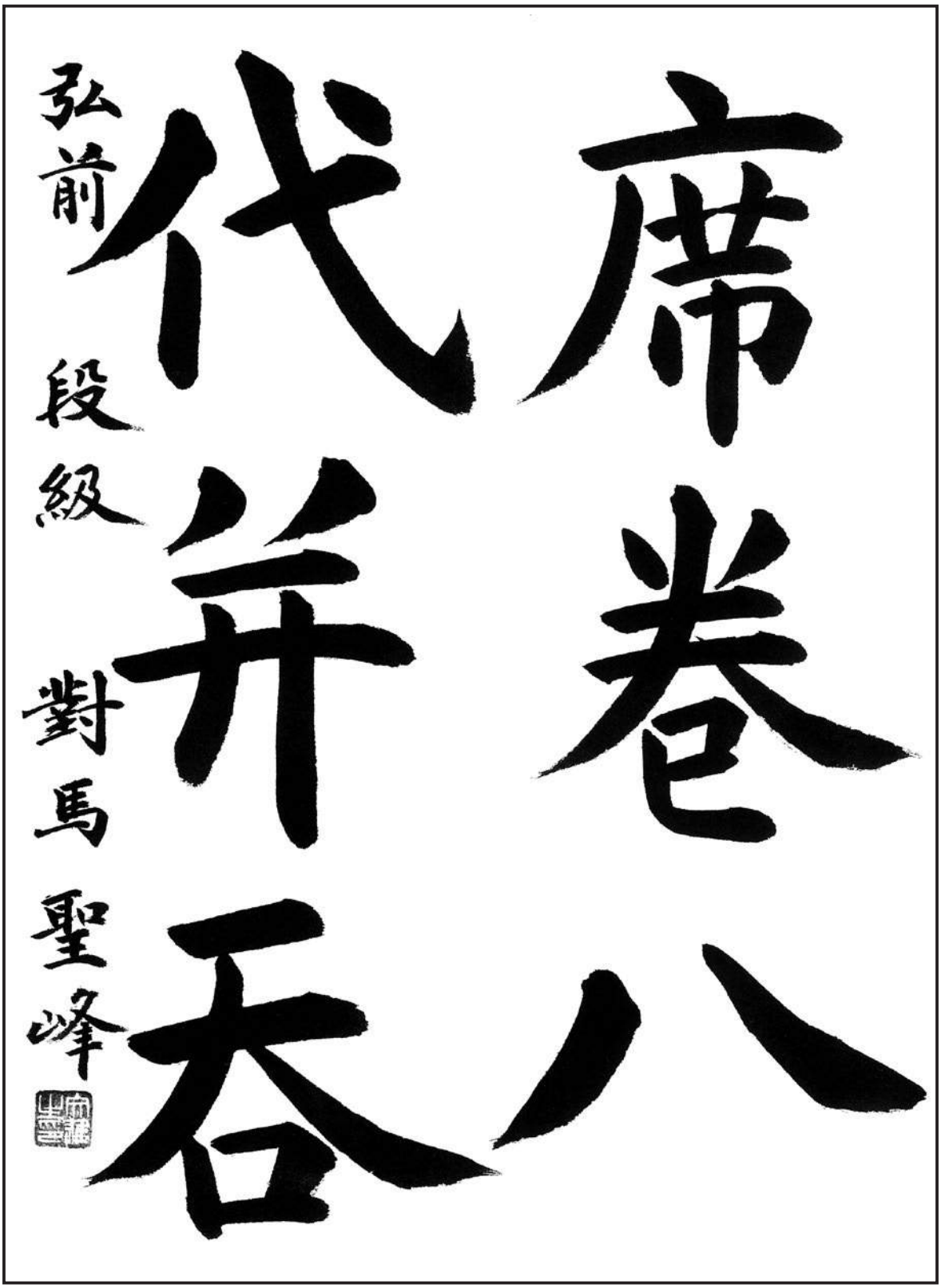
濃墨で羊毛の長鋒筆を使い臨書してみたが少なからず難渋した。書論のようにじっくりと息をととのえて書いたと思っても、緩急の変化をつけずに運筆したとしても日頃の惰性で雑なものになっていることを後悔している。

古川暁洲

7月号　　楷書臨書課題（漢字半紙部）　対馬聖峰臨

※出品段級位（漢字半紙部 新級～八段）

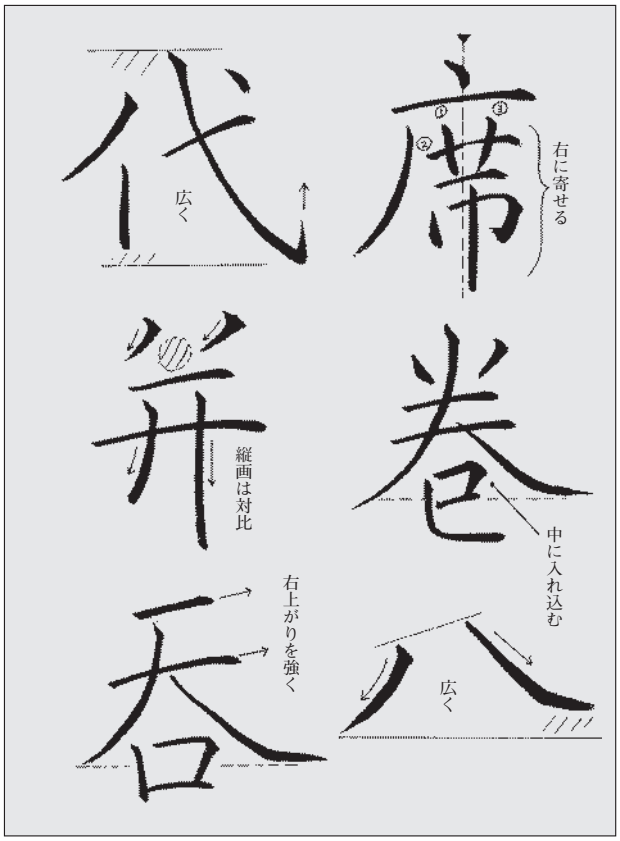
※弘前の部分には支部名を書く



使用筆（花林）・使用紙（無罫半紙・桐）・使用墨（黒耀）

楷書臨書課題解説

孔子廟堂碑（虞世南）



原帖

〔席巻八代幷呑〕八代を席巻し、（九丘を）幷呑するのみ（ならんや）。

〔席〕 中心に気を配り、帒は右へ寄せてバランスをとる。廿の部分の筆順に注意（骨法参照）。最終画終筆は止める。

〔巻〕 1画目と2画目の間は広くあける。左右はらいの方向に留意しのびやかにはらう。己の上部は左右はらいの中に入り込ませる。

〔八〕 方向に注意してバランスをとる。間を広くあけて安定した形に。

〔代〕 偏は小さく、旁は大きく、中の空間を広くあける。4画目は長くそらせて、右上にはねる。

〔幷〕 1・2画目は方向と太さに変化をつける。縦画は対比する。

〔呑〕 横画は右上げを強めにし、4画目の位置でバランスをとる。口の位置に留意する。

7月号　　隷書臨書課題（漢字半紙部）　　奈良岱奉臨

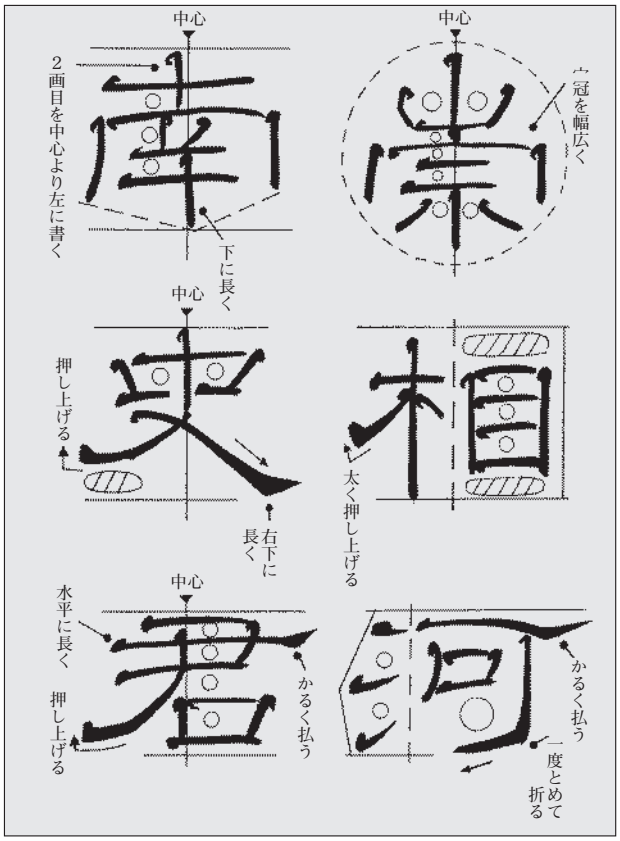
※出品段級位（漢字半紙部 新級～八段）

※弘前の部分には支部名を書く

使用筆（旭水）・使用紙（無罫半紙・桐）・使用墨（黒耀）

隷書臨書課題解説

史晨前碑



〔崇〕 宀を幅広く、全体に円の中に入る形にまとめる。中心をしっかりと通すように。

〔相〕 偏と旁の幅は、ほぼ同じく、木の3画目は太く、終筆は押し上げる。旁は位置に留意し、上下に余白をつくる。

〔河〕 氵は位置と方向に留意し、始筆を力強く。可の横画終筆はかるく払う。最終画は一度とめて折る。

〔南〕 2画目は中心より左に書く。全体に横広な形を心がけ、最終縦画は下に長く。

〔史〕 中心に気を配り、下部の左右のはらいで大きく広がる。右はらいはしだいに筆圧を加えて、右下に長く。

〔君〕 2画目は水平に長く、終筆はかるく払う。4画目はカーブしながらしだいに筆圧を加え、終筆は押し上げる。

原帖

〔崇相河南史君〕（乾と）崇きを（比ぶ）。相たる河南の史君、

7月号　　中字課題（漢字半紙部）　　中西溪州書

※出品段級位（漢字半紙部 新級～八段）

読み―白雲我が坐禅の衣と為る

意味―大空に去来する白い雲を、座禅衣としよう。

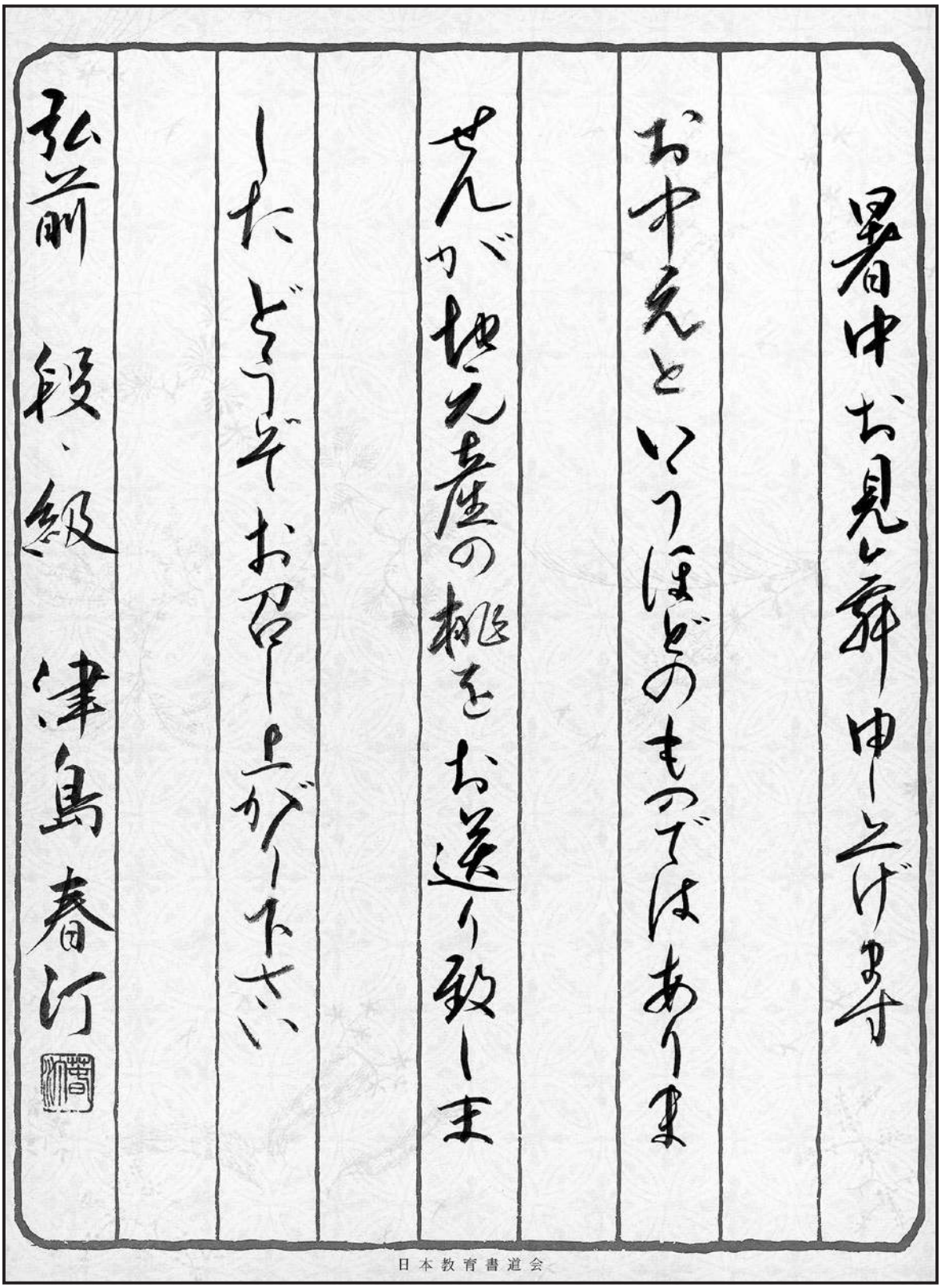
使用筆（天開）・使用紙（中字用半紙）・使用墨（書芸呉竹〈固型〉）

※弘前の部分には支部名を書く

7月号　　調和体（漢字かな交じり文）課題　　津島春汀書

※出品段級位（調和体部 新級～八段）

◎19頁に部分解説があります。



日本教育書道会

使用筆（からまつ）・使用紙（調和体用紙）・使用墨（書芸呉竹〈固型〉）

読み―暑中お見舞申し上げます　お中元というほどのものではありま
せんが地元産の桃をお送り致しま　したどうぞお召し上がり下さい

（◎印墨つぎ）

※弘前の部分には支部名を書く

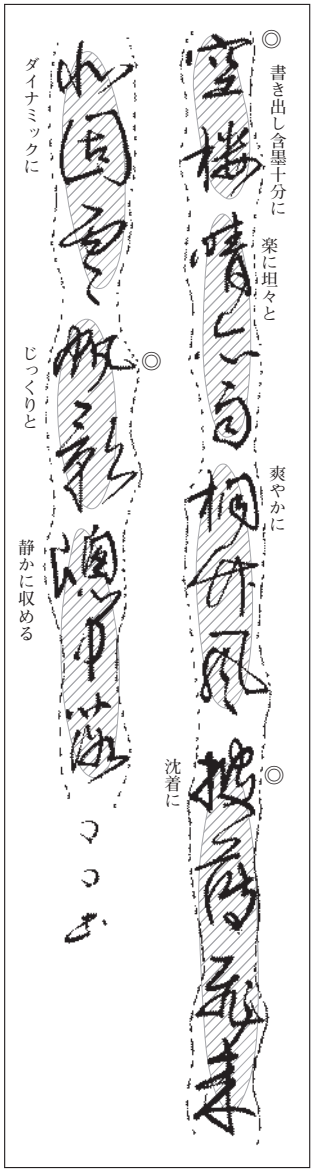
漢字条幅漢詩課題

漢字条幅部
※出品段級位（新級～八段）

今月は文字群についてお話しします。行書の形は楷書のそれと比較して静止した姿ではなく、動きを持っています。まずその動きはどこからきているのか、子細に見て下さい。そしてその動きの姿が次の字に何等の影響を与えています。逆に言えば上の文字の動きを受けて次の文字が何かのポーズをとっています。こうして2字、3字、5字と文字群が一貫して一つのまとまりを持っています。このことが行草作品のポイントであります。これを全く意にせず一字一字、文字を並べるだけでは意味はありません。2字、3字、或は5字を一つの文字群としてとらえて一貫して書くよう心したいものです。

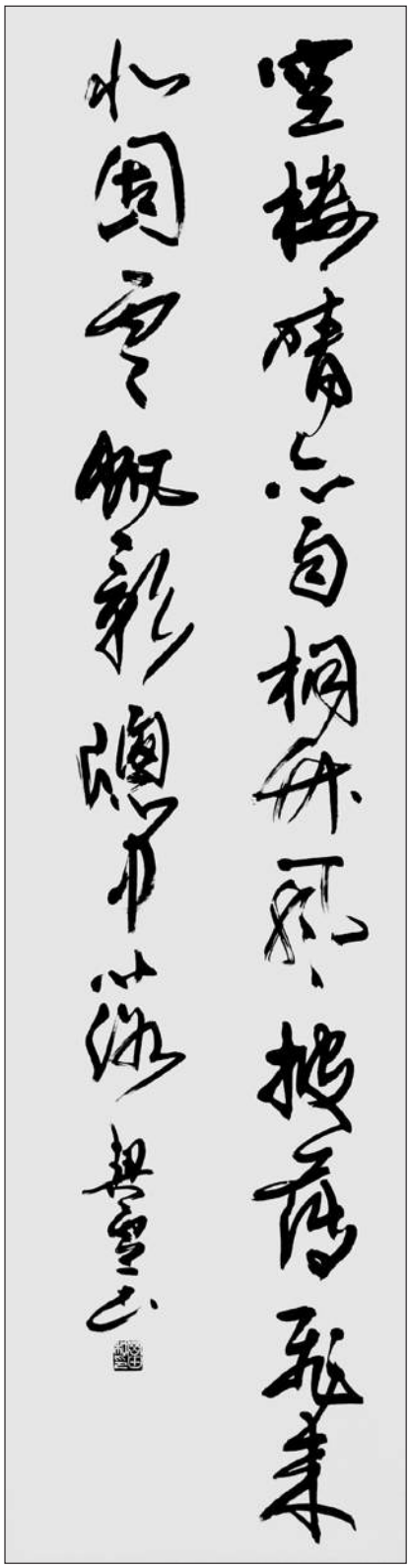
『作品づくりでは、必ず文字群（図版の斜線で括った区分）の表現が屢々（しばしば）でてきますが、これは作品の文字の流れに係る重要なポイントとして常に意識の中に留めて頂きたいものです。初心者の方には理解しにくいかも知れませんが、要するに連綿でなくても、文字の流れとか連係を意とした表現と心得て頂きたいと思います。』

（『　』内は岡田契雪先生より）



使用筆（白神）・使用紙（漢字条幅用紙半切・梅花箋（ばいかせん））・使用墨（頂煙翰墨自在〈固型〉）

岡田契雪先生書



半　切（約136×約35センチ）

半切検定課題原寸大手本
500円で販売しております。

◎〔空樓晴亦雨　桐竹風披薄◎　飛來北固雲　帆影牕中落◎〕厲（れい）　鶚（がく）　（◎印は墨つぎ）

読み―空楼晴（くうろうは）れて亦（ま）た雨（あめ）ふり、桐竹風披薄（とうちくかぜひはく）す。飛来（ひらい）す北固（ほくこ）の雲（くも）、帆影牕中（はんえいそうちゅう）に落（お）つ。

意味―誰もいない楼は晴れたと思うとまた雨、桐や竹に風が吹き寄せた。北固山の雲が飛んできて、帆の影が窓にさした。

注　意

漢字半紙部門と段級位は異なりますので漢字条幅部門の段級位をご記入下さい。なお、初めて出品の人は新とお書き下さい。
支部名・段級位・氏名は鉛筆で左下に記入下さい。

漢字条幅臨書課題

漢字条幅部
※出品段級位（新級～八段）

◆苔溪詩巻（米 芾）

作品を書く時の心構えの一つとして大切なのは、「集中力」を高めることです。

実は、かわいいものを見た後は集中力が高まるという実験結果を、平成24年に広島大学の研究者が発表しています。実験では、集中力が必要な作業の途中で成長した犬や猫の写真を見た場合、見ない時よりも作業成績が12％アップ。その写真を子犬や子猫にしたら44％もアップしたそうです。人はかわいいと感じると、その対象を細部まで観察するため集中力が高まり、それがしばらく持続するのだといいます。

集中力が発揮されているとき、脳ではドーパミン（脳内物質）が活発に分泌されていて、ドーパミンは自分の好きなことをしている時や何かを達成した時などに分泌され、脳を覚醒させ集中力を高める作用があるといわれています。

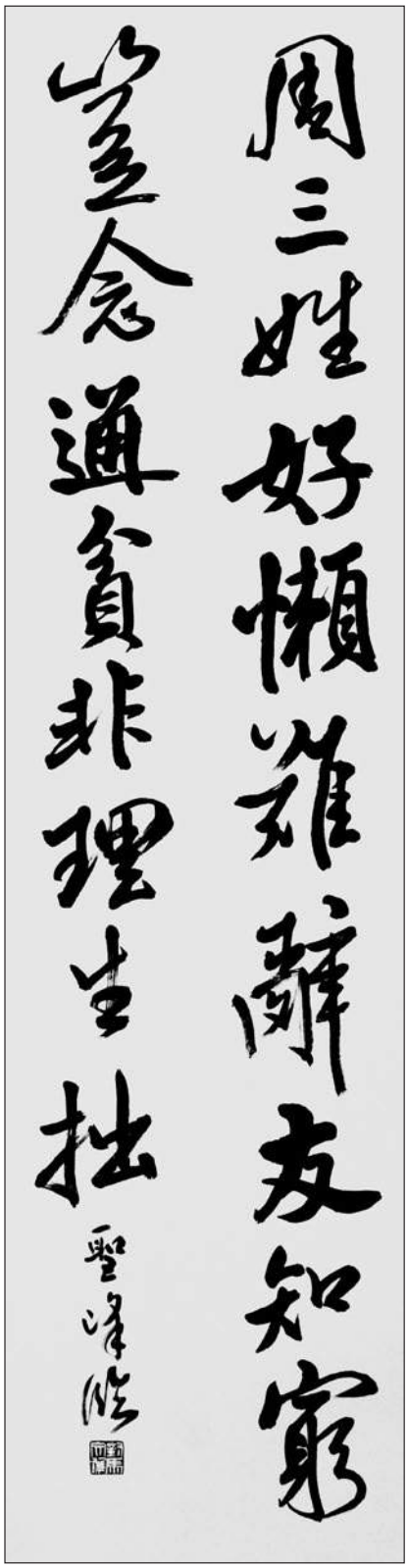
作品に取りかかる前に、子犬や子猫あるいは花など、かわいいものを見て集中力を高め、結果思いがけないようなものが出来るかもわかりませんよ。どうぞお試しあれ。

1行4字目の**好**は少し補墨し原帖に近づけた。上部に大きな動きの**難**、**豈**。逆が**辭**、**窮**の疎密に留意。

周＝ **理**＝

など縦画が後になるのが多い。

対馬聖峰臨



半　切（約136×約35センチ）

半切検定課題原寸大手本
500円で販売しております。

〔周◎三姓　好懶難辭友◎　知窮豈念通◎　貧非理生拙〕

（◎印は墨つぎ）　使用筆（神技北斗）・使用紙（漢字条幅用紙半切・華心箋）・使用墨（黒耀（固型））

読み―周の三姓に借る。懶を好んで友を辞し難く、窮を知るも豈に通を念わんや。貧しきは生を理むるの拙に非ず、

意味―周の三氏に借りていた。なまけぐせがついて友人をことわりきれず、窮することを知っているが、どうして通ずることなど考えよう。貧乏は暮らしかたの下手なためではない、

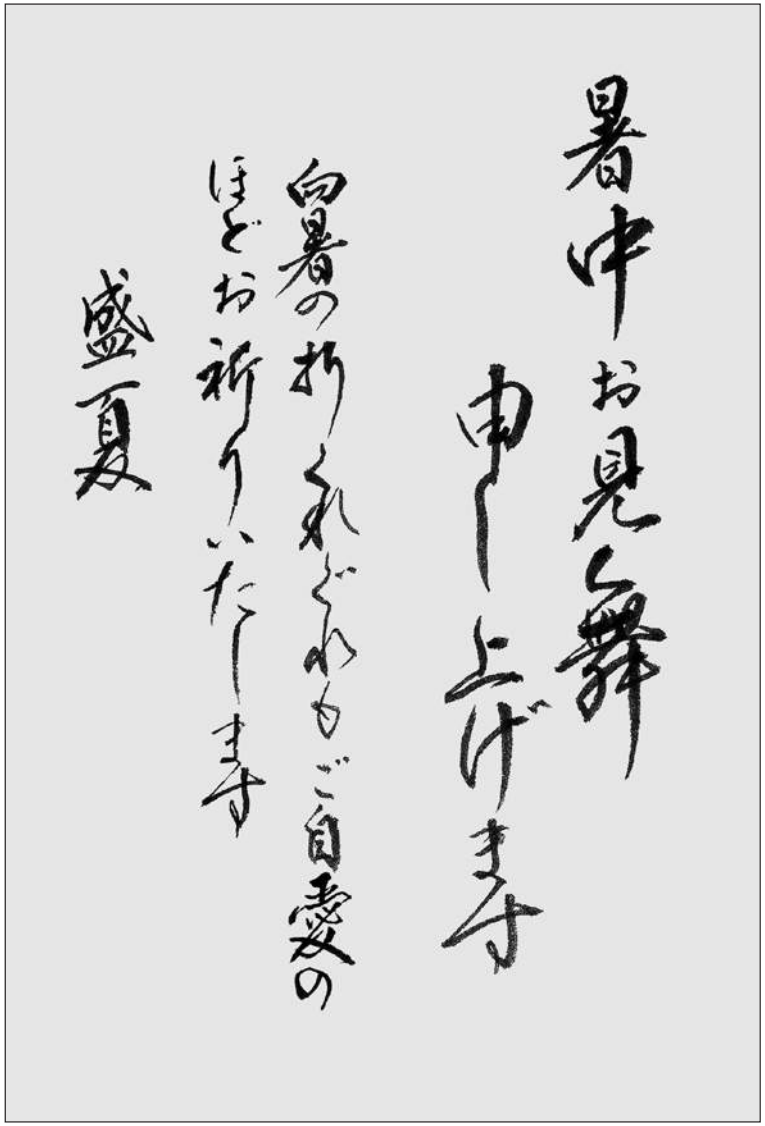
注　意

漢字半紙部門と段級位は異なりますので漢字条幅部門の段級位をご記入下さい。なお、初めて出品の人は新とお書き下さい。
支部名・段級位・氏名は鉛筆で左下に記入下さい。

7月号　実用課題

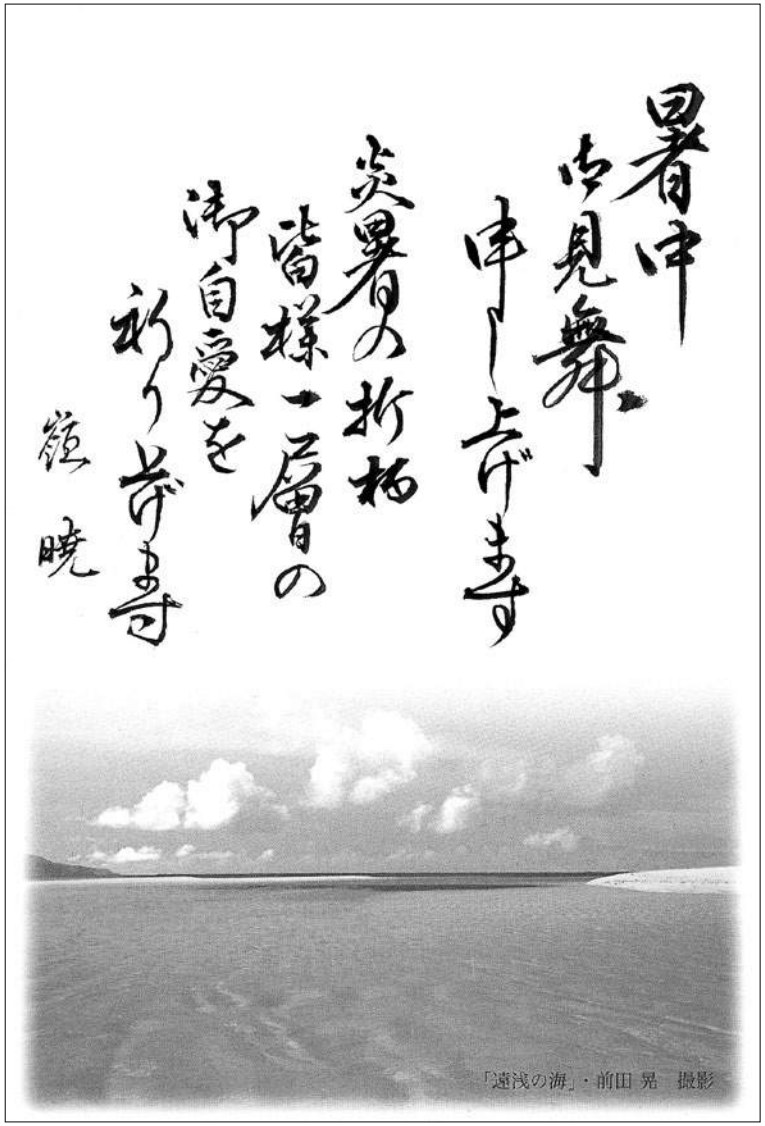
※今月号は出品できません。

暑中お見舞申し上げます　向暑の折くれぐれもご自愛のほどお祈りいたします　盛夏



種市萩径書

暑中御見舞申し上げます　炎暑の折柄皆様一層の御自愛を祈り上げます



中井嶺暁書

書作品を書こう

浴衣を着て縁側でうちわを煽ぎながら夕涼み、の時季にはまだ少し早いけど、今月と来月号は団扇（うちわ）と扇子（せんす）を使った小作品に挑戦したいと思ってます。そのどちらにも細竹で骨を組んであるので、書く時は注意しないと線が切れるし、印を捺すには難儀します。でも自分で書いた団扇（うちわ）を煽ぎながら、爽やかな風を受けるのは最高の気分になることでしょう。

「清　風」

団扇に2字を考えたら、この言葉しか浮かばなかった。**清**を行体、**風**を草体に書いてみたが、行行、草草体でも良いでしょう。でも草行は案配が良くないはず。現代風の横書きにして左から右へ書き、落款は右下へ捺して書いても構いません。**風**は出来るだけ余白部を作り、風通しにご注意を。

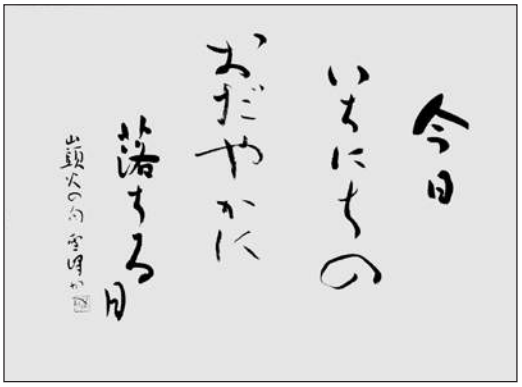
「葵花向日」

3枚とも団扇に書きたかったが、作品用の団扇を持っていない方が多いと思うので、これは半紙に書いた。

大字は葵（ひまわり）の花、日に向かう。初夏の一点景。

「更無柳絮因風起、惟有葵花向日傾」柳の絮（わた）も風に吹かれて飛び散ることもなく、ただひまわりの花が日に向かって傾いているだけである。の意

「今日いちにちの
おだやかに落ちる日」



青森県の日本海側の海岸を、一般に西海岸と呼んでいる。

深浦、岩崎周辺の海岸には大小の岩が点在し、その景色はナカナカのもので、そんな岩の合間にゆっくりと御日様が水平線に沈む様は、言うに言われぬ感動モノである。これを名付けて「夕陽海岸」。ドライブ日和の静かな思いを山頭火の中に見つけました。

応募規定

1. 締切　8月10日（7月号例月作品に同送可。その場合、別封筒に入れて同送して下さい。）
2. 発表　11月号
3. 規定用紙　7月号は団扇（うちわ）か半紙
4. 優秀作品1点だけ紙上にて発表（批評コメントつき）その他は姓号のみ発表
5. 段級位に関係なく誰でも出品可
6. 返送不可

※出品は掲載している作品と同じものを書いてもよい。また、当月規定用紙であれば自由作品可。

※出品段級位（ペン部 新級～八段）

7月号　ペン楷書課題（ペン部）　奈良岱奉書

支部名
学年
段級位
初めての人は新と書く
氏名

平凡な
人間には
一つのことに
成功するのも
容易でない

安井正義

※課題執筆と同じペンを本会で取扱っております 定価162円

（ボールペン0.7・硬筆用紙6行使用）

※出品段級位（ペン部 新級～八段）

7月号　ペン行書課題（ペン部）　奈良岱奉書

支部名	学年	段級位	氏名
		初めての人は新と書く	

平凡な
人間には
一つのことに
成功するのも
容易でない

安井正義

※安井正義（1904～1990）…実業家・ブラザー工業創業者。

※課題執筆と同じペンを本会で取扱っております 定価162円

（ボールペン0.7・硬筆用紙6行使用）

※出品段級位（ペン部 新級～八段）

7月号　ペン手紙課題（ペン部）　奈良岱奉書

暑中お見舞申し上げます　お中元というほどのものではありま
せんが地元産の桃をお送り致し　ましたどうぞお召し上がり下さい

暑中お見舞申し上げます

お中元というほどのものではあり
ませんが地元産の桃をお送り致し
ましたどうぞお召し上がり下さい

支部名

段級位

初めての人は新と書く

氏名

（美文字筆ペン細字・硬筆用紙8行使用）

※課題執筆と同じペンを本会で取扱っております　定価270円